

か
の
み
の
ね



R18
成人向け

KanColle Fanbook

私に
「艦」
だった

夢の
実が
生った

みんな
いくわよー!

そ
おれ
っ

ケ
ツ
コ
ン
じ
ゃ
な
い

結
婚





ふー！
疲れ
たあ……



そう？

私はまだまだ
元気だけど？

提督ったら
ずっと肩肘張って
るんだから



査問が
開かれそうに
なるわ

省の首を
縦に振らせないと
いけないわ

艦と結婚なんて
海軍でも前代未聞
なんだぞ

蒼龍
お前なあ

長官に
呼び出されるわ

世話になった
将官の根回しが
なければ
どうなっていたか……

それはそれは
大変ご心労を
おかけしました
提督さん♪

もう

…全然
わかってない
だろ……

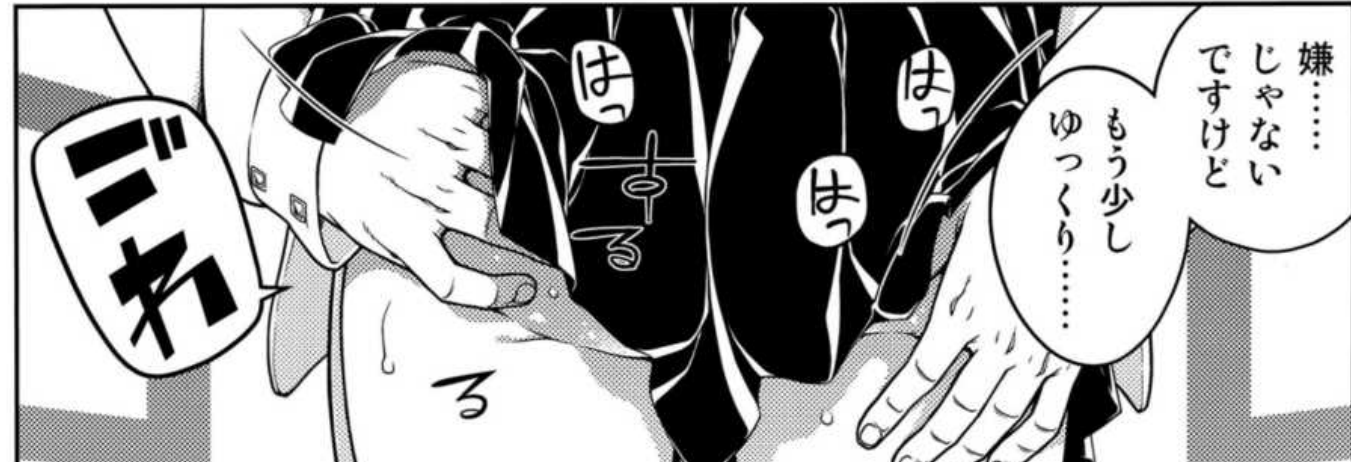
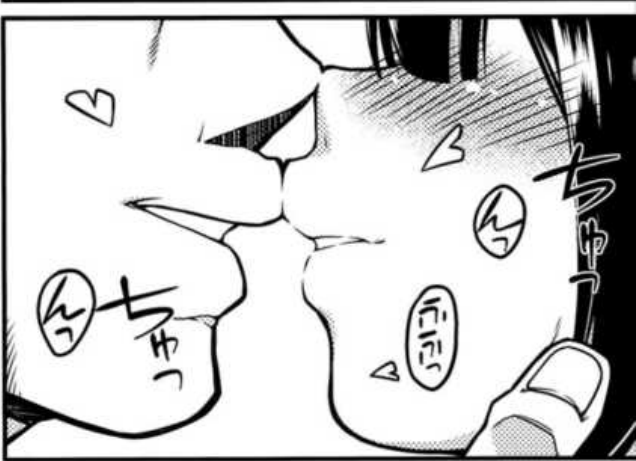
わかってる
わかってる

提督が
私のために
駆けまわって
くれたんでしょ？

これだけじゃ
ないんですよね…

とつても

幸せだなあ
って





やっぱり
それドレスの
下の……

うう……

恥ずかし……



……蒼龍?
お前この
下着って……

あ……



上着
脱がすぞ



まっ……
提督っ

まっ……



じゃあ
それは
汚れても
いいな

ニヤ

だって
ドレス脱いだ
開放感で

だっ

こっち脱ぐの
忘れちゃっ
てて……

えっ？



スケベっ

んん

んん

んん

布ごしに
蒼龍の体温が
伝わってきて

新鮮で
いいもんだ

やっぱり
汚れて
こういうこと
じゃない

—もうっ

まーり

まーり

の
まーり



う〜…
一式は提督に
買っていただいた
んだし

提督さえ
気にしないん
だったら別に
いいんだけど

へんな趣味
こじらせて
ませんか？

そんなことは
ないぞ？



わざわざ
可愛い乳首を
見せてくれる
なんて

蒼龍も
スケベじゃ
ないか

やだ…っ

不可抗
力ですっ



サラサラ
フカフカに
包まれて

あっ



カップが
摩擦でズレて

乳首が
はみでちゃ…



癒されるな
はまはま



……ほら
やっぱり
お前も
スケベだ



いったのか？

——蒼龍？



我慢できない
我慢できないっ
我慢できないっ！

ていとくう
ちようだい
よお

お○んこ
せつないよお



あああ

いま舌
絡められて
溶かされたら



にゆるにゆるで
あたま痺れて

子宮
やばいよお……っ



…俺だって
もう
挿入りたいさ

じゃあ
挿入れてよお

急に
お前にも
怪我でも
させたら…

だいじよ

ですっ!!

慌てるな
ゆっくりな

ぶ

ほっほっ



滑りすぎて
良すぎて

高ぽん

高ぽん

うまッ

そっぴりめっ

なんで
こんなに
濡れてッ

温めた
ゼリーの中
みたいだッ

高ぽん

高ぽん

高ぽん



てーとくッ

スキだしッ

高ぽん

全部ッ

さいごー
でっ



だって

だってッ

てーとくッ

結婚ッ

できたしッ

高ぽん

高ぽん



結構
たまって

最近ご無沙汰
だったから

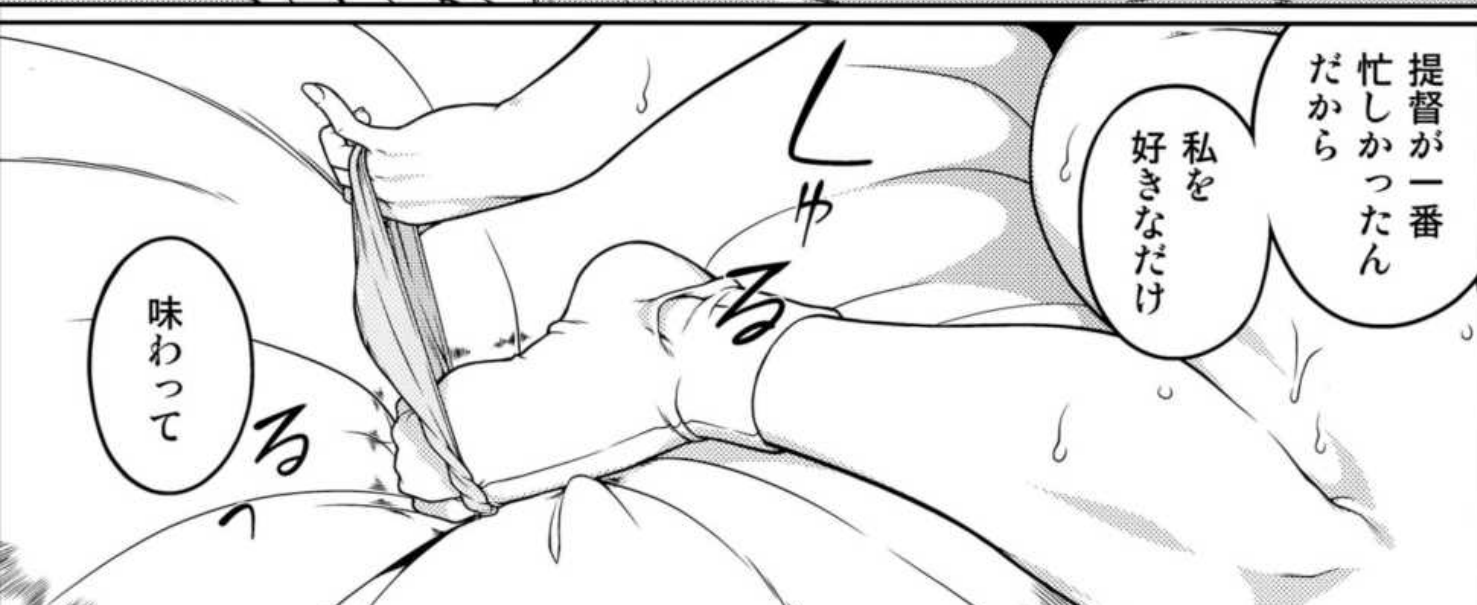
悪いな

うおおお
おおおッ



はまだこの中で
沸騰してる…

精子残って
ますよ……?



提督が一番
忙しかったん
だから私を
好きになって

味わって



—ほら
ほかほか膾で
包んじやう

提督だけの
”艦“^{おんな}
の味

ちゅ
ちゅ



もう夫婦
なんだから

遠慮せず
召しあがれ



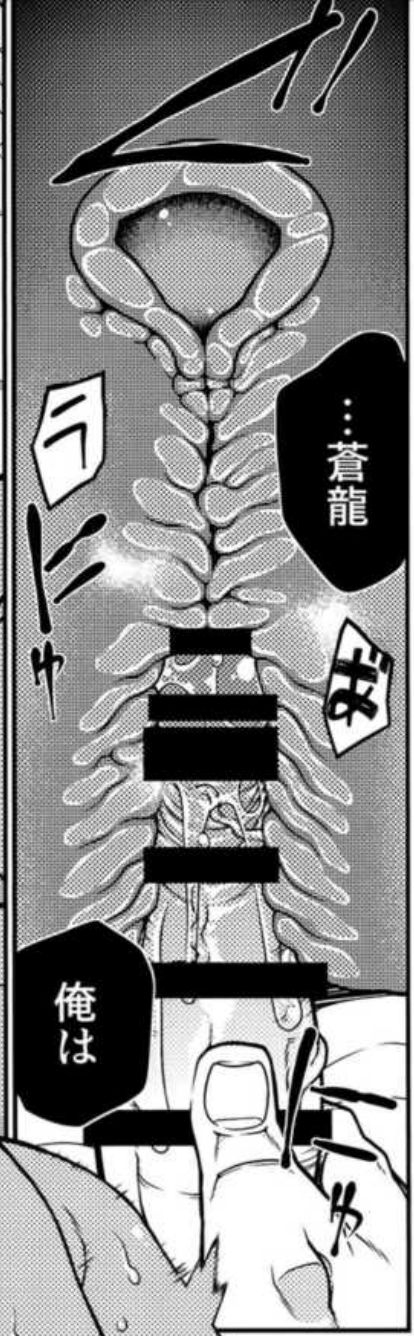
幸せ者だッ

カッ

カッ

カッ

おっぱいおっぱい



…蒼龍

カッ

俺は



艦だとしても

こんなにも
愛しい女と
結ばれたッ

はっ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

いっぱい幸せに
なりましょっ

カッ

カッ

カッ



提督の
気が済むまで

ははは

ははは

ははは

ははは

私で又いてっ

ほじくってっ

ははは

たくさん
ぐぼくぼ動いて
気持ちよくなっ
てくださいっ

提督の精子



かけてっ

射精してっ

ははは

ははは

提督の精子っ



蒼龍の
喉ま〇こッ

てーとふの
ことほなら

ヌルヌルで
熱いッ

にんひん
したっへ

いーん
だはらっ



受け止め
ますからっ

お嫁さんの
私がつ

射精

射精

射精

射精

突けば突く
ほど

射精した精子が
膈内からあふれて
いやらしい音
してゐるぞっ

わかんないっ

もー
わかんないっ

ばかになつて
るうううっ

おち○ちんと
子宮がちゅーって
しててっ

とんじやつ
てっ

蒼龍そんなに
締め上げたらッ

俺…射精ち
まうッ







「...アッ、アッ、アッ」

「アッ、アッ」

「アッ、アッ、アッ」

「アッ、アッ」

「アッ、アッ、アッ」

「アッ、アッ、アッ」

「アッ、アッ、アッ」

「アッ、アッ」





こんなに
がつつくまで
溜めこむなんて

ほんと
提督のここは
お猿なんだからあ

なんだ？



えいつ

いてッ



まだ
物足りなかった
か？

やだあ！

そうじゃない
わよお！



あまりなんでも
根を詰めないで
くださいって
ことです！

私たちが艦だって
提督のこと
心配するん
ですからね？



私を一番
これからも

大切に
してねっ



自分を
大切にして

艦のみんなも
大切にして

でも

氷樹一世です。

この度は「みのりかさね」を手にとっていただき
ありがとうございます。

本誌の内容は
以前だした蒼龍本の続きを念頭に構成しています。
が、一応単体でご拝読いただいても
差し支えない構成になるよう努めています。

以前のものがケツコン本だったので、
続きなら本物の結婚かなあと想定しました。

氷樹一世

みのりかさね

サークル名:TUKIBUTO
(<http://www.h4.dion.ne.jp/~tukiyo-b/>)
作家名:氷樹一世
印刷:サンライズ パブリケーション

発行:2015年12月31日 コミックマーケット89
ご意見ご感想はこちらまで▼
nightmoonfight@k6.dion.ne.jp

※無断複製・転載、18歳未満の購入閲覧等禁止※



TUKIBUTO PRESENTS
2015 WINTER

